

フォームド技術に注力開始—「低炭素混合物の製造を可能にする」—

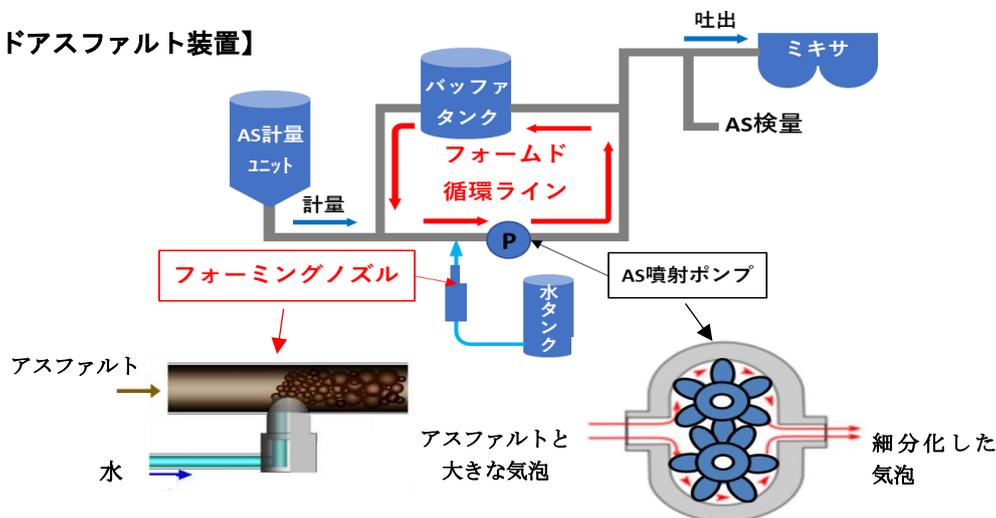
三井住建道路株式会社（東京都新宿区西新宿6丁目24番1号 社長：蓮井肇）は、朝霞共同アスコン（埼玉県）にフォームド装置を設置し、当社における検証の結果、施工性改善に伴う締固め特性の向上を確認しました。この結果を受け、フォームドアスファルト混合物『ロードケアフォーミング』として9月下旬より同工場にて製造販売を開始しております。フォームド技術は低炭素混合物の製造も可能にするため、今後はより積極的に全国のプラントへ展開していく方針です。

■フォームド技術について

フォームド技術とは高温時のアスファルトに水を高圧噴霧混合することで、水が気化してアスファルトが発泡するものです。発泡によりアスファルトの見かけ粘度が低下し、混合性が向上すると共に、施工時にベアリング的な働きをし、温度が低下しても締固めやすくなります。

当社が設置したフォームドアスファルト装置は、発泡したアスファルトを循環させることにより、発生した気泡がアスファルト噴射ポンプにより細分化され、消失しにくい微細な泡を作り出すことができます。さらに、発泡添加剤を加えることにより、微細な泡の発泡持続時間と発泡倍率が向上し、締固め度に対する温度低減効果を最大限に発揮することができます。

【フォームドアスファルト装置】



■今後の展望

温度が低下しても締固めやすいフォームドアスファルト混合物は冬季施工対策、長距離運搬への対応が可能となります。さらに、混合物製造温度の低下を可能にし、燃料消費量を減少させることによりCO₂排出量の削減が可能となります。地球環境保全の観点からも、今後積極的に展開していく方針です。

<製造工場（2021年10月時点）>

朝霞共同アスコン 住所：埼玉県朝霞市上内間木 549-2
 電話：048-456-0121
 FAX：048-456-0123

<ニュースリリースお問い合わせ先>

三井住建道路株式会社 広報室 03-6258-1534

* リリースに記載しているものは発表時のものです